整形・災害外科　目　次

第 65 巻・第 13 号（12 月号）

特集：寛骨臼骨切り術の合併症低減と早期回復を目指して

（企画：名越　智）

Periacetabular osteotomy の歴史と変遷……原　俊彦……1609
寛骨臼移動術における早期回復と合併症予防……本村悟朗ほか…1617
東大式 RAO の変遷と早期回復，合併症予防……田中健之ほか…1625
大転子切離寛骨臼回転骨切り術後の早期回復と合併症予防……天神彩乃ほか…1631
寛骨臼回転骨切り術後の早期回復と合併症への対処……庄司剛士ほか…1637
偏心性寛骨臼回転骨切り術の手術手技と pitfall……坪井真幸……1647
Curved periacetabular osteotomy 後の早期回復と合併症低減の工夫……木下浩一……1655
Spherical periacetabular osteotomy における早期筋力回復と合併症低減の試み……兼氏　歩ほか…1663
コンピュータ支援技術の応用による寛骨臼回転骨切り術の低侵襲化……池　裕之ほか…1673

—Personal View—
「教える」ということ……播広谷勝三……1601

—新しい医療技術—
経仙骨的脊柱管形成術……富田　卓ほか…1681

—論　究—
尺骨非定型骨折の経験と文献的考察……白山輝樹ほか…1687

—臨　床—
高位脛骨骨切り術と脛骨顆外反骨切り術の臨床成績比較……樋口隆志ほか…1695
手指基節骨骨折に対する Kirschner 鋼線刺入位置が術後可動域制限に及ぼす影響……岩田英敏ほか…1701

—経　験—
Cam type FAI に対する peripheral compartment first technique を用いた股関節鏡視下手術の経験……田中秀達ほか…1707
変形性膝関節症に対するジクロフェナク結合ヒアルロン酸ナトリウム関節内注射に局所麻酔薬を混合した場合の効果……戸田佳孝ほか…1713

整形外科手術 名人の know-how「髄膜腫の診断と手術手技」……名越慈人……1602
スポーツ医学 つれづれ草（36）「ととのほりたるは，あしき」……武藤芳照……1679
机上の想いのままに（55）「言葉は生き物である」……西野仁樹……1686
次号予定目次……1685
バックナンバー特集一覧……1680
投稿規定……1717
編集後記……1718
読者アンケート……1662
総目次……巻末(2)　人名索引……巻末(10)　Key words index……巻末(13)

編集顧問

青木治人・黒澤　尚・落合直之・中村利孝
飯田寛和・山下敏彦・平田　仁

編集主幹

田中　栄・石橋恭之・中島康晴
今釜史郎・谷口　昇

Orthopaedic Surgery and Traumatology
Vol. 65　No. 13　December　2022　©

金原出版株式会社

2026/09/29 18:25:31